# 白峰会との交流登山

参加者　３１名

総リーダ：澤田

Ａ班：白峰会～太斎、佐藤、鈴木／ＣＬ藤木(晴)、永宮、東海林、渡辺、片岡、斎藤

Ｂ班：白峰会～五十嵐、大庭　　／ＣＬ山岸、河村(勝)、川村、長沼、及川、阿部、谷

Ｃ班：白峰会～深堀、佐藤、田中／ＣＬ近藤、小山内、本野、相馬、津川、河村(キ)

自由班：前野、森永、藤木(た)

今回、宮城県白石市白峰会との交流登山に初めて参加しました。樽前山と夕張岳はともに日本二百名山の１つ、山三昧の２日間、どんな感動が待ち受けているか楽しみです。

**＜７月１４日（土）＞　樽前山登山**

9:25 7 合目登山開始～10:20 東山・西山分岐～10:38 東山頂上～10:48 下山開始～
11:40 932 峰分岐～11:43 風不死岳分岐～11:50 昼食～12:50 7 合目下山終了

７時４５分、苫小牧フェリーターミナルで白峰会のメンバー８名と合流。前日からの長旅にもかかわらず、疲れた様子もなく、頼もしさを感じる。２日間どうぞよろしくお願いいたします。

９時２５分、３班に分かれ、７合目登山口より登山開始。気温は１６度、ガスがかかり山側は何も見えない。この山は３０年ほど前、職場のレクレーションで登ったことがあり、火山灰で歩きにくかったこと、風が強かったことを覚えている。間近に溶岩ドームは見られるか、きれいな景色やたくさんの花に出会えるか期待が膨らむ。

登山口からは整備された丸太の階段を登り、１０分程で展望台に到着。晴れていれば、支笏湖がきれいに見えるとのことだが、濃いガスで何も見えない。さらに進むと、ほどなく森林限界地点となり、草木の育たない火山灰の道となる。唯一、このような過酷な環境下にありながらイワブクロ（タルマエソウ）がけなげに咲いており、元気をもらう。

１０時２０分、東山・西山分岐点に到着。火山性のガスが少し漂っており、急に風も強くなり、カッパを着る。

１０時３８分、１０２２．２ｍの東山山頂に到着。火山性のガスはさらに強くなり、濃いガスで溶岩ドームも周りの景色も全く見えなかったが、全員で登頂を祝い、記念写真を撮る。

１０時４８分、下山開始。足元に気を付けながら溶岩ドームをトラバースするように痩せ尾根をひたすら下る。途中、後発で逆回りに登ってきた登別山岳会のメンバー５名と笑顔で無事合流、以降行動を共にする。苔生えていて、９３２峰分岐付近で見つけたあざやかな黄緑色の苔に覆われた小石達は、まりものようでかわいかった。

樽前山山頂での白峰会のみなさん

１１時５０分、風のない沢合いで昼食をとる。
１２時１８分、下山再開。すでに森林限界地点は過ぎているため、今度は草木の露払いをしながら、１２時５０分、７合目登山口についに到着。　所要時間は３時間２５分。
駐車場では、先に下山したメンバーがスイカを用意していてくれ、みんなで甘いスイカをほおばり、無事の下山を喜びあった。

終日濃いガスに覆われ、溶岩ドームなどは見ることはできなかったが、白峰会の方々と共に登った樽前山は思い出に残る山行となりました。

その後は、夕張に向かう途中、２つの道の駅（千歳サーモンパーク、夕張メロード）に寄り、１６時２０分、ホテルシューパロに到着。夜の交流会では、おいしい夕食を食べながら、自己紹介をしたり、山談議で盛り上がり、最後はやっぱり勝さんの音頭で一升瓶ヤッホーを唱和し、白峰会の会歌を歌いお開きとなりました。　　いよいよ明日は夕張岳、明日も早いぞ！！４時起床！！

**＜７月１５日（日）＞　夕張岳登山（冷水コース）**

6:50 登山開始～8:10 冷水の沢～8:30 前岳の沢～8:35 冷水・馬の背分岐点～9:17 石原平～9:25 望岳台～9:55 憩の沢～10:12 前岳湿原入口～10:30 ｶﾞｽ岩石荒原～10:38 蛇紋岩崩壊地～10:45 冷水の沢～11:07 釣鐘岩～11:10 吹き出し～11:20 金山分岐～11:40 夕張岳頂上～12:00 昼食～12:30 下山開始～15:48 下山終了

３時４５分起床。外を見ると、雲ひとつない快晴。雨の心配はなさそうなので一安心。夕張岳は初登山となる。
５時１０分、作ってもらった朝・昼のお弁当をザックに詰め、ホテルを出発する。
６時５０分、いよいよ夕張岳登山開始。冷水の沢川が流れる音がすがすがしく心地よい。花のシーズンのため、登山客が次から次とやってくる。
冷水の沢コースを登る。急な登りを４つ越え、８時３５分、冷水・馬の背分岐に到着。ここからは、壮大なシラネアオイの街道が始まる（残念ながら花は終わっていた）。石原平のシラネアオイの群生地帯は花が咲いていたらと想像すると、驚愕に値する。うれしいことに２輪だけ花を付けたシラネアオイに出会う。
９時２５分、望岳台到着。目の前には姫岳。ふくよかで形の良い山でした。ここから、いよいよお花畑の始まり。雪渓も残っている。
１０時１２分、前岳湿原入口に到着。整備された木の道を歩く。昔は、ぬかりながら歩いたそうですが、今は整備され、一本道で迷うこともなく快適です。チングルマにウサギギク、アズマギクにアサツキ、フロウ・・・周囲には、数えきれないほどの種類の花が咲いている。
冷水の沢で、沢水を飲む。冷たさが体に浸み入る。
釣鐘岩は、きれいな三角形でした。

２輪咲いていました

１１時１０分、一番のお気に入りとなった「吹き出し」に到着。別世界！！背の低い草花が吹きさらしの地に可憐に咲いている。自然が作った花の寄せ植え。笑みが満開です。藤木リーダ、すみません。すばらしさに足が前に進みません。

花の寄せ植え

頂上への最後のきつい登りを登りきると、赤い神社が現れ、もう一息登って、１１時４０分、ついに１６６７．８ｍの夕張岳頂上に到着。空は晴れ渡り、遠く芦別岳も見える。全員で登頂を喜び、記念写真におさまる。

神社のところで昼食を取り、１２時３０分、下山開始。

足並みよく、快調に山を下り、１５時４８分、ふたたび心地よい沢音が聞こえる登山口へ到着。登り４時間５０分、下り３時間１８分。
無事の下山を握手で喜び合う。

神社側から山頂を撮る

夕張岳は、変化に富み、見どころも多く、疲れを感じさせない、また来たくなる山でした。

下山後は安平町「ぬくもりの湯」で汗を流し、レストラン「しばらく」で夕食をとる。

２０時３０分、とうとうお別れの時、フェリーターミナルで来年の再会を誓い、お見送り。

２日間に渡る山行、お疲れ様でした。３０名近い大パーティでしたが、チームワークよく、マナーよく、健脚ぞろいで、無事完登できたことを大変うれしく思います。

白峰会のみなさんには花の名前を教えてもらうなど、たくさんお世話になり、ありがとうございました。

沢水を飲んだところから少し進んだところで、ぽつんとピンク色が見えたので撮影。夕張小桜見つけました

記　斎藤